

# 東地区まちづくり ワークショップ #1

第1回テーマ  
・高専生の発表を聞こう  
・自己紹介・意見交換



## みんなで創る東地区の未来！ 高専生による発表と意見交換を実施

舞鶴市ではまちなかに舞鶴高専の一部キャンパスを誘導し、多様な市民や若者が集い、学び、新たなチャレンジや価値を生み出す場所”「舞鶴まちなか高専構想」”の実現を目指しています。

全3回のワークショップではまちづくり会議での意見や舞鶴高専の学生が事前に考案したアイデアを紹介しながら、みなさんと共にこれからのまちづくりを考えていきます。

第1回では舞鶴市の考える東地区まちづくりの方向性の説明と高専生による発表会・意見交換会を実施しました。

### 舞鶴高専生の発表

「舞鶴まちなか高専構想」をテーマとした東地区のまちなか再構築について、まちづくりを学ぶ建設システム工学科の学生19名(4班)が、現状課題の設定やコンセプト、道路施策や公共交通施策などの検討に取り組んできました。各班の検討成果となるまちづくり提案を行いました。

#### 誘導施策

空き家を利用した高専生が手掛ける防災

八島LAB



八島商店街の可能性

イベントから「日常」へ  
現在の八島商店街は空き店舗が目立つ一方で、夏祭りなどのイベント時には多くの人が集まるポテンシャルを持っている  
ここに高専生が通い「日常の風景」を加えることで、東舞鶴や商店街に持続的な明るさと賑わいを取り戻す



学生・市民・行政など様々な関係者が協働するような提案が多く挙げられました！



#### 五条通りの活用

地域の人々が滞在できる空間

- ・高専内の五条通りに、学校のシンボルとなる噴水を配置
- ・車両の通行を規制し、地域の憩いの場とする

- ◇ 滞在型ベンチ : 学生と住民が自然と隣り合う空間
- ◇ 親水モニュメント : 舞鶴の豊かな水を象徴
- ◇ オープンな歩道 : 学校の敷地を街へ開放



#### 6.交通施策

提案2:現国道及び県道23号線の歩道幅を増幅させる。

提案内容

- ・現国道移設後、歩道の道路幅増幅
- ・県道23号線を、歩道幅を増幅

▶ 徒歩や自転車での駅へのアクセス向上



### ワークショップの意見

参加したみなさんの声をご紹介します！

#### A班

面白いアイデアがたくさんあった！  
まち×舞鶴高専の関係づくりが大切

- ・まちなかに高専が来るだけでなく、まちとの関わりをしっかりと考えたい。
- ・三条通などのまちなかのウォークアブル化はぜひ進めてほしい。
- ・まちなかの空き家を自分たちで活用して活動が続けていくことが大事だと気付いた。
- ・銭湯に関する提案や、水を中心としたまちを作る発想が良かった。
- ・まちなかに遊び場や飲食店が少ない。

#### B班

東地区まちなかは可能性があふれている  
高専生の活動をまちに開いてほしい！

- ・洋服等のショッピングができる場があると嬉しい。
- ・まちなかにサテライト拠点を設置し、日常的に市民と高専生が接触できる環境づくりが理想。
- ・高専での学びや研究内容をまちに開き、市民や小中学生に見せるため、ファサードにガラス面を多用した教室・ラボが実現すれば良いと思う。
- ・アクセス課題の解消に向けてコミュニティバスの活用やマイカーのシェアリング等を考えてほしい。
- ・商店街をまち歩きをした際に、シャッターを閉じている店舗が多く、活性化のポテンシャルが大きいと感じた。

#### C班

まちなかの新たな賑わい創出に向けての  
環境づくりが必要！

- ・歩行者と車の交通が分離してくれたら、より歩きやすくなる。
- ・まちなか高専構想により、商店街に人が多く集まることは嬉しい。
- ・商店街には勉強できる場所が少ないため、高専生が商店街に来てくれたら、勉強しやすい環境が作れて良いと思う。
- ・高専生がまちなかに来ることで、食堂や飲食店の利用が増えるようになってほしい。
- ・既存の店舗などとの連携施策をさらに検討していけば良いと思う。
- ・交通政策や予算確保、地元経営者・住民の理解促進など、行政や大人が環境面のサポートを行っていく必要があると思う。

### 次回のお知らせ

第2回ワークショップ 10/18(日)13:30-15:30

- ① 東地区まちなかのいいところ、自慢できるところ
- ② まちなかにあったらいいもの、できたら面白い事

お問い合わせ

舞鶴市都市計画課 TEL/0773-66-1048

